



## 検診を受けましょう 乳がん

近年日本において乳がん患者は増加していますが、治療法も進み以前に比べて治療の見込みは高くなりました。早期に発見して適切な治療を受ければ9割の方は治癒します。早期に発見するために必要なのが自己触診と検診です。

乳がんは特別なものを除き、大多数はシコリを生じません。そのシコリを自己触診で見つけていただきたいのです。一方、吹田市の検診では39歳までは視診触診のみで、発ガン率の高くなる40歳からは視診触診とともに乳房X線検査(マンモグラフィ)を用いて行っています。乳房X線検査を用いる乳がん検診は科学的に乳がんによる死亡率の減少効果が証明された方法です。

乳がん検診の現状について、日本対がん協会が2010年に施行した吹田市と同じ方法で行われた検診の結果、受診者17万4916人のうち



乳がんが発見されたのは2807人(0.23%)でした。わかりやすく比率で説明すると、1万人が受診して視診触診あるいは乳房X線検査で異常ありと判定されたのが620人で、そのうち55人が精密検査を受けて最終的に23人に乳がんが発見されたというものです。

乳がんは早期に発見すれば高い確率で治る可能性のあるがんです。市では2年に1回市民検診として乳がん検診を受診することが可能です。本年は西暦の偶数年に生まれた人が受診可能です。誕生日の月とその翌月に受診できます。乳がん検診該当の方は、早速、市の乳がん検診実施施設で検診を申し込みましょう。